



経営とSDGs ～取組は身近なことから～

SDGs
17のゴール



業種別でみる具体的な取組内容 運輸業

4月号から、ステップ1の「SDGsを理解する」に重点を置き、業種別の具体的な取組内容をシリーズで紹介しています。
今回は運輸業についてです。

※以下で紹介する取組はあくまで一例です。

「ホワイト物流」推進運動

運輸業界では、出荷元・納品先での待ち時間が長いことによる長時間労働や、積込・積降し等荷役作業の肉体的負担などを背景に、深刻なトラック運転手不足が生じています。

「ホワイト物流」推進運動とは、これらの問題に対応し、トラック輸送の生産性の向上、物流の効率化を進めることで、女性や60代の運転手でも働きやすい、より「ホワイト」な労働環境の実現に取り組む運動のことです。

関連するゴール



エコドライブの推進

エコドライブとは、燃料消費量やCO₂排出量を減らし、地球温暖化防止につなげる“運転技術”や“心がけ”です。車両別の燃費実績をチェックし、エコドライブへ意識向上を図ることで安全運転にもつながります。

関連するゴール



シェイクハンド輸送システムの活用

シェイクハンド輸送システムとは、長距離輸送の起点と終点が全く逆の2社が連携し、長距離輸送の中間地点でドライバーのみが交代し、再びもとの起点に向けて運行する輸送システムのことで、このシステムは日帰り運行を可能にし、労働時間の短縮にもつながります。

関連するゴール

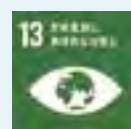


個人で取り組めるSDGs

車での移動を減らす

車に乗る機会を減らせば、地球温暖化の防止など環境保全に貢献できます。公共交通機関や、徒歩、自転車で行ける範囲の移動は、できるだけ車を使わないよう意識することが大切です。
徒歩や自転車での移動は環境保全だけでなく、自身の健康のためにもなります。

関連するゴール



(協力：東京海上日動火災保険株式会社) 出典：「SDGs取組のヒント」

2ドア軽自動車地域最安値

24時間
2,200円 24時間
1週間 **8,580円** 1ヶ月 **27,280円**

メンテナンス不要・保険付き・税込

買うより借りる
ガッツでしょ!

ガッツレンタカー 新潟駅前店

TEL: 025-256-8520 FAX: 025-256-8325

新潟市中央区明石 1-2-10 コーポ明石1F

<https://guts-rentacar.com/> ガッツレンタカー



『認定支援機関』として新潟の企業を応援します!

詳しくはこちらへ <https://www.ogawakaikei.co.jp/>

(本店) 新潟市東区豊2-6-52 TEL 025-271-2212

税理士法人

小川会計

株式会社 小川会計

コンサルティング

社会保険労務士法人

K B S

- 法人税務～相続まで総合支援
- 事業承継とコロナ対策支援

- 経営計画策定・モニタリング支援
- 認定支援機関補助金申請

- 人事・労務相談
- 就業規則・助成金申請

会社の福利厚生を応援します

新潟市が出資している法人です。

従業員1人当たり月800円で、充実した福利厚生を実現!

会員募集中!



主な事業：慶弔給付、
健康維持増進、
自己啓発援助、
余暇活動援助ほか

詳しいサービス内容はインターネットで

ニビイ 検索

愛称 **ニビイ**

公益財団法人
新潟市勤労者福祉サービスセンター

新潟市中央区西堀通6-878-1 西堀7番館ビル3F

電話 (025) 201-6113 <http://www.nippy.jp/>

本連載では、IT 経営マガジン「COMPASS」に掲載した全国の IT 活用事例を
もとに、中小企業の経営において、IT がどのように役立つかを、解説していきます。

ITを事例から ひも解く



『辞めます……』と言われる前に、 会社ができること

苦勞して採用したスタッフ。長く働いてもらえるよう、さまざまな工夫を
されていらっしゃると思います。とはいえ、仕事内容によっては、
いつも顔を合わせているとは限りませんし、スタッフ側は職場で不安なこ
とがあっても上司に相談するのは勇気がいるでしょう。面談しても本音が
言えないかもしれません。最近では、この分野にもITが役立つようになって
きました。経営者・管理職とスタッフの間にあるコミュニケーションギャ
ップを埋めるITツールを活用して成果を上げている企業の事例を見ていきま
しょう。

「COMPASS」2021年夏号から転載（記載内容は掲載時点のもの）

IT 経営マガジン「COMPASS」編集長
石原 由美子



「離職を減らし長く働いてもらえるよう、スタッフとの
対話には力を入れてきました。しかし、人数が増えると
物理的な限界もあります……」

宮城県仙台市の人材派遣会社・東洋ネクストの佐藤章央
社長は、「多様な働き方を先取り」するユニークな事業展開
を行っている。例えば毎日営業する飲食店が一人のスタッ
フを求めているとき、一人が30日間働くわけにはいかない
が、平日午前中のみ、平日を週3日、土日可能といったさ
まざまな就労形態のスタッフを時間帯や曜日で組み合わせ、
双方のニーズに応えているのだ。派遣スタッフが評価を受
けて、3年後の直接雇用につなげるのが一番の望みだという。

しかし、業種にかかわらず、働き手の離職は悩みの種だ。
欠員が出た現場の対応はもちろんのこと、働く側も悩み
や不満を抱えたまま解決できずに退職し、成長の機会を
失うことになる。毎日顔を合わせるオフィス勤務以上に、
店舗などの現場に分かれる業態では、「辞めたい」と言われ
て初めて問題に気づくことも多々ある。

東洋ネクストでは、自社の派遣スタッフに適宜聞き取
りを行い、派遣先企業にもレポートしているが、管理者
によってスタッフの言葉を受け止める感度にばらつきが
あり、また、スタッフ数が増えると面談機会を逃すなど、
課題も生じていた。

「デジタルでスタッフの心の状態を可視化でき、離職の
理由を知って適切な対応ができればどんなに良いかと考
えていた2020年夏に、『マインドウェザー』を知りました」

佐藤社長は、新しいITツールとの出会いをこのように話す。

「マインドウェザー」は洋服のお直し業を営むビック・

ママが開発した、スタッフの「心もよう」を可視化するク
ラウドサービスだ。スタッフはLINEを通じてサービスサ
イトに接続し、気軽に今日の「心の天気」（晴れ、曇りなど、
直感的に選ぶ）を回答したり、困りごとやサポートしてほ
しいことなどを書き込んだりできる。

管理者はスタッフ一人ひとりのコンディションや書き
込み内容を管理画面で把握し、意見を受け止め、面談な
ど状況に応じたきめ細かい対応を行っている。

取組を通じて、離職率を50%減らすことに成功した。

同時に、管理者側の課題も見えてきたという。

「上がってきた声に対するレスポンスが『こんなに出来
ていないのだ』と気づきました」

佐藤社長はこう打ち明ける。

例えば、書き込まれた内容を見て、感情的にならず「事」
に向かい合えるか。どう声を掛ければモチベーションが
上がり笑顔で働いてもらえるのか。素早く適切なレスポ
ンスを返せるかなど。離職の多さ＝マネジメント層の弱
さでもあったのだ。

離職の課題に向き合ってきた経験と実績をもとに、今
後はスタッフの定着率を上げるノウハウを持った「HRコ
ンシェルジュ」の事業展開も模索している。

「東北は30年後に人口が30%減少するといわれていま
す。だからこそ、人事機能は大変重要です。採用・教育・
定着面で地域に貢献していきたい」と、佐藤社長は今後の
展開を語った。

事例からヨミトル

- ・ 離職を防ぐ対応策は、スタッフの状況を「知る」ことから始ま
ります。
- ・ 現場の声をもとに、スマートフォンを使って、スタッフが簡
単に「現在の状況」を伝えられるITツールが生み出されました。
- ・ 管理者側の対応も見える化すると、スキルアップにつなげる
ことができます。

会社概要

社 名	東洋ネクスト株式会社
住 所	宮城県仙台市青葉区一番町2-4-1 読売仙台一番町ビル10F
設 立	2016年
従業員数	220人 (パート・アルバイト・派遣含む)
事業内容	人材派遣、人材紹介、採用コ ンサルティング事業
U R L	http://toyonext.co.jp/company